

会社名 株式会社エー・ピーホールディングス
(コード番号:3175 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久
問合せ先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛
(TEL. 03-6435-8440)

月次営業レポート(2025年8月度)

I. 2026年3月期 国内飲食店 前年同月比(売上高・客数・客単価)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
全店	売上高前年比 (%)	107.7	112.0	115.0	109.5	114.8								111.7
	客数前年比 (%)	109.8	109.9	106.3	109.1	116.5								110.2
	客単価前年比 (%)	97.4	101.0	98.7	99.9	98.4								99.1
	当年店舗数(店)	136	134	124	124	124								124
既存店	売上高前年比 (%)	100.7	105.4	101.9	103.7	109.3								104.2
	客数前年比 (%)	104.6	105.2	104.6	101.2	106.6								104.4
	客単価前年比 (%)	97.0	100.8	96.4	101.7	102.2								99.6

* 2025年8月度 曜日合わせ後の既存店売上高前年比: 112.1% ⇒ 曜日影響 Δ2.8ポイント

(注)

- 決算確定前の数値によって算出しております。
- 既存店: オープン後13ヵ月経過した店舗、但し業態変更等により稼働しない期間は当該月のみ除外
- 客数: デイナー客数(ランチ除く)
- 客単価: デイナー客単価(ランチ除く)
- 曜日影響: 前年と当年の月内の曜日日数の違いによる影響

【月次ハイライト】

2025年8月度の全店ベースの売上高は、比較対象期間である昨年8月が台風の影響により売上高が低下したため、前年同月比114.8%と大きく伸びました。また、既存店ベースにおいても、塚田農場18周年記念キャンペーンといった来店動機を創出する施策が奏功し、売上高は前年実績を大幅に上回る109.3%となりました。

引き続き、「食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、変化し続ける消費環境に柔軟に対応しながら、今後も一次産業との深い繋がりを活かし、魅力あるブランドづくりを推進してまいります。

区分	前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国内	居酒屋事業	62	61	59	59	59	59						
	専門店事業	48	49	49	49	49	49						
	レストラン事業	26	26	26	16	16	16						
	小計	136	136	134	124	124	124						
海外	19	19	19	19	19	19							
直営店合計	155	155	153	143	143	143							

当月出退店情報

出店
該当なし

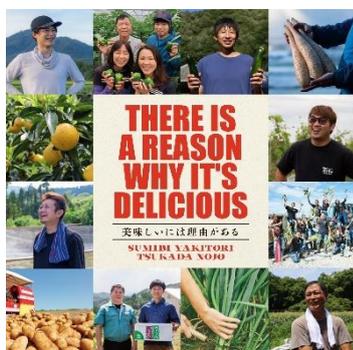
退店
該当なし

業態変更
該当なし

<月次トピックス>

① 【炭火烧鳥 塚田農場】 グランドメニューリニューアル～メニューブックも充実

炭火焼鳥
YAKITORI
TSUKADA NOJO
農塚
場田



関東・関西で10店舗展開する「炭火烧鳥 塚田農場」は、8月20日（水）よりグランドメニューをリニューアルしました。「炭火烧鳥 塚田農場」は、長年鶏と向き合い続けてきた塚田農場が、地鶏や銘柄鶏を使用した本格的な炭火の焼鳥と手軽につまめるタパスをカジュアルに楽しんでいただくことをメインに誕生したブランドです。今回のグランドメニュー変更では「日本各地の美味しいもの」をテーマに、季節感のあるタパスメニューを充実させるとともに、炭火烧鳥塚田農場らしく最初の一口から食材との出会い、生産者とのつながりを感じていただけるようメニューブックを全面改訂しました。

炭火烧鳥塚田農場グランドメニューリニューアル：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000594.000004635.html>

② 【APHD】 カスタマーハラスメント対応方針を発表



AP HOLDINGS

2025年9月1日付で「カスタマーハラスメントに対する方針」を発表しました。

当社は「食のあるべき姿を追求する」をミッションに掲げ、生産者、販売者、消費者をとりまく「食産業」の世界において、関わってくださる皆様の「ALL-WIN」を目指しており、さまざまな施策に取り組んでおります。

一方で、当社運営店舗において、一部のお客さまから従業員に対するカスタマーハラスメントに該当する迷惑行為を見受けられました。これらの行為は、APHDで働く仲間たちの心身の健康と安全を損ない、労働意欲の低下、離職にもつながる恐れがあり、近年推進しているAP流人的資本経営の観点からも、APHDに携わるすべての仲間たちの「心身の健康」および「安心して働ける環境」を確保する必要があると考え、対応方針の策定に至りました。

本方針をもとに、これまで以上に「お客様への誠実なサービス」と「従業員の尊重と保護」の両立を目指し、安全で持続可能な企業活動に努めてまいります。

エー・ピーホールディングス カスタマーハラスメントに対する方針：

https://ap-holdings.jp/ir/keiei/customer_harassment/